

2019年4月

日本が、WTT Cグローバル・チャンピオン・アワードを受賞し、 スペイン・セビリアで授賞式が行われました！

2019年4月、スペイン・セビリアで開催された世界旅行ツーリズム協議会（WTT C）のグローバル・サミットにて、日本が「WTT Cグローバル・チャンピオン・アワード」の防災、危機管理及び復興部門で表彰されました。授賞式は、世界各国の政府機関、観光・旅行関連企業の代表者が参集するなか開催され、観光庁が日本を代表して授賞しました。

本アワードは、大きな成果をもたらす政策の導入や観光・旅行業界の競争力向上に向けたリーダーシップを発揮した国などをカテゴリー別に評価するもので、初開催となった本年は、世界 185 カ国から日本を含む 7 カ国が受賞しました。

日本が受賞した背景として、観光庁監修の災害時情報提供アプリ「Safety Tips」をはじめとして、日本の、訪日外国人・外国人居住者に向けた多言語での情報配信などの災害対応が評価されました。

翌日、日本は官民連携で開催したプレス・コンファレンスにおいて、改めて RWC2019、Tokyo2020 等のメガイベントを控えた日本の対応状況や、持続可能な観光への取り組みについて説明しました。

JNTO では、ウェブサイトや SNS、外国人向けコールセンターにおける自然災害関連情報等の発信を強化しており、引き続き、非常時の外国人旅行者の安全・安心確保に向けた取り組みを進めてまいります。



アワード授賞式の様子



JNTO 公式 Twitter アカウント
(2018 年開設)